

株式会社ジェイコム八王子

放送番組審議会 議事録

平成29年度(2017年度)株式会社ジェイコム八王子 放送番組審議会は、2018年3月22日(木)ジェイコム八王子局にて開催された。

【放送番組審議会委員】

ご出席

細谷 幸男 様
鎌田 正純 様
相原 悦夫 様
清水 栄 様
古川 由美子 様

事業者側から J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】 進行：相原会長

■ 八王子市制 100 周年

委員

八王子市制 100 周年に関連する膨大な数の取材に協力してもらい感謝している。

100 周年の記念映像制作を委託したが、過去のアーカイブを持っているからこそ可能な映像となっていた。地域密着の J:COM だからこそだと思う。

委員

「八王子まつり」の事前番組として、歴史を映像で追っていく「八王子まつり今昔」という特集に協力した。アーカイブを使って八王子の歴史を辿っていくコンテンツは視聴者を惹きつけると思う。原点から時系列で追っていくことで象徴的な番組になった。駅伝などの特番にも応用できると感じた。

委員

最近「八王子まつり」はもっぱらテレビで楽しんでいる。現場だとステージが小さいのでよく見えず、混雑もすごいので身動きが取れなくなってしまう。

委員

毎年 町会の業務があり、甲州街道まで見に行くことができない。たいていイベントの当事者は本番を見られないので、テレビで視聴できるのはありがたい。最も見てもらいたい当事者や出演者に対して、J:COM の放送は大きな意味があると思う。

■「デイリーニュース」について

委員

「デイリーニュース」のオープニング曲をもっと明るいものに変えた方が良いと感じた。

夏に実施したプロジェクションマッピングは費用もかけて臨んだので是非 生中継してもらいたかった。

委員

「デイリーニュース」は時事問題にも取り組んでいる。今年は成人式の着付け業者トラブルで横浜と八王子に被害者が多かったが、しっかりと取材していた。

委員

成人式の着付け会社が夜逃げした事件が印象的だった。地上波では表面的に事件として扱うのに対して、「デイリーニュース」は被害者を救済しようとした方々に寄り添って取材していて地元ニュースらしいと感じた。温かみのある扱い方に感銘を受けた。

委員

「デイリーニュース」で取り扱って頂いている内容は他メディアと比較しても非常に幅広い分野にわたっている。新聞での取り上げは多いが、映像媒体の誘致には苦労しているのでありがたい。特に、福祉分野まで放映してもらえるので視聴者の助けになっていると思う。

■「八王子人図鑑」について

委員

地域密着のスポーツ・芸能・文化を視聴者に提供している中で、「八王子人図鑑」はだいぶ定着してきた。地元の経済界や文化人、ベテランから将来を担う若年層まで紹介している。

委員

八王子はイベントの主催者など活動的な方が多い街。そうした方々同士の接点が少ないのが現状だが、「八王子人図鑑」に出演した方の人となりを知ることによって親交が始まったり、コミュニティ形成の手助けとなったりしている。

委員

「八王子人図鑑」はワンカットでの演出だが、やはり寄り引きがあった方が良いのではないか。ゲストの表情を見ることができると、よりトークに集中できると思う。

事業者

商店街にオープンしたジェイコムショップで公開収録を行っており、市民にも馴染んできた実感している。

■「八王子商工会議所アワー」について

委員

八王子の経済界の動きが理解できるうえ、直接携わっている人の声が聴けるのは魅力的。「経済」と聞くと市民の実生活と開きがあるように感じるが、映像を通してどのように家庭と関わってくるのか理解できる番組。地産地消の動きといった普段は見逃してしまいがちな題材を知ることができて意義がある。生活に直結した八王子の良さを、行政の広報と連携で広めていてもらいたい。

■八王子ユーロードとの連携

委員

八王子ユーロードにジェイコムショップがオープンして、公開収録を行っている。ユーロードでは様々なイベントが催されているので、ジェイコムショップでの公開収録で告知をして頂けると J:COM のアピールと街との接点強化という相互に利益があると思う。

委員

ジェイコムショップをスタジオとして使っているが、ユーロードでは土日にイベントが多いので、10分～15分でもイベントを生中継したら盛り上がるのではないかな？ 日中の様子を伝えることで中心商店街の活性化につながると思う。

事業者

ジェイコムショップに来れば八王子のイベントがわかる、といったコラボは是非考えていきたい。

委員

ユーロードは文化の拠点となっている。複数のセクションから成り立っており、四季を通じて様々なイベントが行われているので、年間を通じてユーロードの事業を応援する番組があれば八王子の特徴を映す番組となるだろう。

■地域アナウンサーに関して

委員

女性の地域アナウンサーが多いが、男性はいないのか？男性・女性がいると変化がついて良いと思う。

事業者

多摩事務所の地域アナウンサーは女性 2 名のみ。今後検討していきたい。

■情報収集に関して

委員

市民から映像を投稿してもらう場合、信憑性が問題になる。精査せずに放送はできないが、どのようなチェック体制を考えているのか？昨年 6 月 八王子に雹が降り、エリアによっては大きな被害が出た。こうした事象の速報を映像で見られると、より暮らしに不可欠なメディアとなっていくだろう。

事業者

基本方針として、投稿してくれた方に必ず確認を取る。著作権や肖像権の問題もあるので、問い合わせた上で放送の可否を決定できるように調整を進めている。

委員

八王子エリアは広いので大変だが、地域からの情報収集はどのように行っているのか？

事業者

窓口は地域プロデューサーが担っている。多摩事務所と力を合わせて進めている。

委員

福祉関係や子ども食堂、食品ロス削減といった取り組みの情報発信に苦労している。大手テレビ局の見せ方とは違い、地域のテレビとして、困っている人に居場所やサポートの存在を伝えてあげることが重要。年配の方にもリーチできるのも強み。

■災害時の対応

委員

一目で状況が理解できるようになっており、災害情報が充実していると感じる。

委員

災害発生時における J:COM の体制はどうなっているのか？

事業者

各スタッフの最寄り事務所に駆けつけるスキームになっている。L 字放送でも情報が出せるので訓練を進めている。1 月の大雪では簡易中継器が大活躍したが、やはり日頃から実践していないと対応できない。今後は有事の際を想定した体制での番組づくりを定期的にも実施していきたい。

■ アプリ「ど・ろーかる」について

委員

「J:COM で見たのでイベントに来ました」というお客様も多く、いつも取材に来て頂いていてありがたい。アプリ「ど・ろーかる」も役立っている。撮影してもらったイベントの出演者や取材を受けた方が J:COM を視聴できない環境でも、ダウンロードすればご覧になれるので、より積極的に番組をご紹介できるようになった。

委員

アプリ「ど・ろーかる」は、八王子が取り組んできた、世界規模で考え地域で活動する「グローバル」と通じるコンセプトがある。

事業者

今はアプリ「ど・ろーかる」配信のみ、という選択肢が増えた。ショップを中心としたアプローチの一案として検討したい。

■ 来期への展望

事業者

番組内容からジェイコムショップの活用まで、我々が気付けないようなことばかりで参考になった。「八王子人図鑑」に出演頂いた方々からも反響の大きさを聞いている。地上波ではできない、地域密着の強みを活かした良い番組を作っていきたい。

以上